

# 「保険者支援力向上のためのガイド（案）」作成について

## 作成の目的

これまでの国保連合会の保健事業における保険者支援の現状と課題を踏まえた上で、更なる保険者支援の充実を図るために、国保・後期高齢者ヘルスサポート事業を基軸とした**実際の支援事例等を参考に、効果的な支援手法やノウハウ等を整理し実務に役立つガイドを作成**する。

## 基本的な考え方

- ① 主には、ヘルスサポート事業における連合会事務局の役割の明確化や支援目標の設定、取組の工夫等により、更に保険者支援のスキルアップが図られるよう、効果的かつ効率的な取組みのポイントなどを中心に、簡潔でわかりやすく伝える構成や内容とする。
- ② 取組みのポイントをチェックリスト形式で自らチェックできるようにして、担当職員が課題に感じている事項からガイドを活用できるようにする。
- ③ 詳細な内容等は、ワーキンググループ等で作成した既存のマニュアルやガイドライン等に紐づけて示すことにより、活用を図る。
- ④ ガイドを関係機関と共有することにより、協働して保険者への支援にあたることができるようにする。
- ⑤ 当面は、課題に対応した支援のパターンを示し、活用を通じた検証を行いつつ、ガイドの内容をブラッシュアップする。

## ガイドの活用者

国保連合会の保健事業担当者

また、情報共有先として以下を想定。

保健事業支援・評価委員会委員、都道府県、後期高齢者医療広域連合等の保険者支援に関わる関係機関

## ガイドの構成（案）

ガイドの内容として、以下のもので構成する。

- I 保険者支援のチェックリスト  
ヘルスサポート事業における保険者支援の実施事項について、チェックリスト形式で支援のプロセスを提示。
- II 解説編  
保険者支援におけるポイントや留意点について、Q&A形式で記載するとともに、参考となる連合会等の事例を提示。
- III 支援パターン  
国保連合会等が抱える課題解決に向け、支援の参考となるパターン別の内容をまとめて提示。

# ガイド作成の検討経緯について

## 令和2年度以前

- これまで平成26年度から7年間にわたり、ヘルスサポート事業として、国保連合会に有識者による保健事業支援・評価委員会を設置し、全国82.2%※の市町村の保健事業に対する支援・評価を行ってきた。
- 市町村等保険者においては、令和2年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施が開始されており、国保保健事業も含めより一層、関係者が連携したデータヘルスの取組推進が求められている。
- ヘルスサポート事業の創設時とは異なる状況の中、本運営委員会において、令和2年度よりこれまでの取組成果や課題を踏まえた今後の方向性の検討が進められてきた。

※ 累積支援率（一度でも支援を受けた市町村割合）

## 令和3年度

- 第21回国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会(4/13)において、これまでのヘルスサポート事業の成果や課題について、検討を踏まえ見えてきたヘルスサポート事業の課題への対応案と今後の方向性について事務局（案）を示した。（最終ページ P.9 参照）
- その結果、令和3年度事業として今後の国の動向も踏まえ、支援ガイドの作成とワーキンググループにおける検討について了承を得た。

- 第17回運営委員会ワーキンググループ(6/28)において、ガイドについて協議検討を行った。
- WG委員からいただいた主なご意見については、以下のページに記載する。

次頁につづく

## 第17回ワーキンググループ（6/28）でのご意見等を踏まえた対応について

No.	主なご意見等	対応（案）
1	<p>基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援力向上ガイドの使用者の想定について → 連合会の専門職、事務職の両方を想定。（事務局）</li> <li>・ ガイドの使い方イメージについて → 全国に周知し、勉強会や新任者への説明等、各連合会の状況に応じた活用をイメージ。（事務局）</li> <li>・ これまでのガイドとの違いについて → 教科書的な内容ではなく、実務に役立つ具体的なノウハウを記載予定。どうすればより支援力が向上できるかが趣旨。（事務局）</li> </ul>	<p>○「はじめに」、「本ガイドの使い方」に、基本的な考え方として、左記内容を記載。</p>
2	<p>構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援の具体的なやり方や事例を出す形式は受け入れられやすい。</li> <li>・ 教科書的なものでなく、担当者目線のQを作ることで、より読んでもらえる物にする。</li> <li>・ Q9などは担当者がQとして疑問を持つかなど、タイトルから見直した方がよい。</li> <li>・ 保険者として何を重視しているかを把握したうえで、連合会の担当者目線でどう動くかを書くとうい。</li> <li>・ 連合会の好事例も示せるとよい。</li> <li>・ 連合会によっても、できることできないことはあるので、頭から読まなくても良いような構成が良い。</li> </ul>	<p>○ ご意見を踏まえ、以下の構成とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援の手順に沿った担当者の動き方についてチェックリスト形式で整理する。</li> <li>・ チェックリストの解説編はQA形式で作成する。</li> <li>・ 連合会ヒアリング等を参考に、対応に困っている課題等に対応した支援パターンを記載する。</li> </ul>

No.	主なご意見等	対応（案）
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連合会事務局の役割が重要で、明確化が必要。</li> <li>・ 市町村の組織体制が重要。国保と衛生部門の連携も必要。</li> </ul>	チェックリスト準備編 No.11～15 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保険者ニーズや実施体制等の把握の重要性、研修会や訪問等により直接意見を聞く場の確保が重要であることを記載する。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連合会の事務職員は訪問に慣れていないのが現状。県と連携して訪問するのもよい。</li> </ul>	チェックリスト準備編 No.20～21 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県との同伴訪問等の連携体制の整備について記載。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連合会の事務局体制について、事務職主導型、専門職主導型などパターンがあると思うので、それぞれを例示できるとよい。</li> </ul>	チェックリスト準備編 No.24、No.25 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連合会内の実施体制を例示等で記載する。</li> </ul>
6	実施体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続性を考えると単独ではなくチームでの対応が必要。</li> <li>・ 支援を受ける側の人事異動を克服するための内容をガイドに記載できると良い。</li> </ul>	チェックリスト準備編 No.24、No.25 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左記内容を記載する。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連合の特殊な事情（特徴）を踏まえた支援を期待。</li> <li>・ 連合会と広域連合の連携（情報交換）により保険者支援がうまくいくのでは。</li> <li>・ 広域連合ヒアリングにより、市町村への取組や連合会との連携状況を明らかにしてほしい。</li> </ul>	チェックリスト準備編 No.22、No.23 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連合の保健事業の特徴や実施体制等の状況や課題を把握した上で支援の重要性を明記する。</li> <li>・ 広域連合と連携の必要性や事例を記載する。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家（支援・評価委員）をどうコーディネートするか、どうやって持っているいいものを引き出すかが大事で、ただ集めればよいというものではない。</li> </ul>	チェックリスト事業実施編 No.16～22 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援・評価委員のコーディネートの効果的な方法等を記載する。</li> </ul>

No.	主なご意見等	対応（案）
9	保険者支援	チェックリスト準備編 No.1～3 ・事務局の役割に記載する。
10		チェックリスト事業実施編 No.1～5 ・連合会調査及びヒアリングで収集。提供依頼を記載する。
11		チェックリスト事業実施編 No.6～15 ・保険者全体の課題を把握した上で個別支援(計画等)の作成が重要であることを記載する。
12	支援カルテ（仮称）	チェックリスト事業実施編 No.6～15 ・支援カルテ（仮称）等の様式について検討し必要性について記載する。 チェックリスト事業実施編 No.27～32 ・支援記録の必要性を記載し、事例を踏まえ様式例を掲載する。
13	KDBの活用	チェックリスト事業実施編 No.27～32 ・KDBの支援について、取組事例からの活用データの解説やワークシートの活用など、具体例を記載する。
14	研修等	チェックリスト事業実施編 No.23～26 ・研修会の企画の重要性と工夫について事例等をもとに記載する。



# 「保険者支援力向上のためのガイド（案）」の構成イメージについて

## ガイドの内容（案）

### 目次

#### I. → 保険者支援のチェックリスト

#### II. → 解説編

##### 1. → 準備編

- Q1. 保健事業の全体像や国保連合会・関係者の役割を確認するには？
- Q2. 国や都道府県の動向を確認するには？
- Q3. 保険者の状況を確認するには？
- Q4. 関係者との連携体制を構築するには？

##### 2. → 事業企画編

- Q5. 保険者支援の全体目標を設定するには？
- Q6. 全体事業計画を作成するには？
- Q7. 支援保険者を募集するには？

##### 3. → 事業実施編

- Q8. 支援保険者の課題を整理するには？
- Q9. 支援保険者の個別支援計画を作成するには？
- Q10. 支援カルテ（仮称）を活用するには？
- Q11. 支援・評価委員会を効果的に実施するには？
- Q12. 研修会を効果的に実施するには？
- Q13. 事務局支援を効果的に実施するには？
- Q14. 事務局機能を強化するには？
- Q15. 新型コロナウイルス感染症等の流行時に気を付けることは？
- Q16. 申請のない保険者に対する対応方法は？

##### 4. → 事業評価編

- Q17. 国保連合会の保険者支援の事業評価を実施するには？
- Q18. 支援結果を関係機関と共有するには？
- Q19. 次期計画の見直しをするには？

#### III. → 支援パターン

##### 1. → 支援保険者数が多い場合の支援ポイント

※支援パターンについては、次ページ参照。

### ① 保険者支援チェックリスト（イメージ）

No.	目的	チェックリスト		ガイド内解説編Q
		実施事項	チェック項目内容	
1	事業の理解	保健事業の全体像と保険者支援の目的を理解する	ガイドライン、手引きを読み、保健事業のねらいや①全体像を把握する。 ②事業の概要を知る。	Q1. 保健事業の全体像や国保連合会・関係者の役割を確認するには？
2		国保連合会における保険者支援の目的を確認する。		
3		各関係者に求められる役割を理解する	国保連合会および各関係機関に求められる役割を確認する。	
4	国の施策動向を把握する	国保中央会の資料を確認する	当年度の保健事業の重点項目を確認するために、国保中央会の各種会議資料（国保連合会保健事業担当課（部）長会議、国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会、報告会等）を確認する。	Q2. 国や都道府県の動向を確認するには？
5			厚生労働省等の国の資料「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン」、通知等を確認する。	
6			ヘルスサポート事業に係る「国保連合会等補助金」「後期高齢者医療制度関係業務事業費補助金」の通知等を確認する。	
7			ヘルスサポート事業に係る「保険者努力支援制度」「後期の保険者インセンティブ」の要件等を確認する。	

### ② 解説編

#### 1. 準備編

##### Q1. 保健事業の全体像や国保連合会・関係者の役割を確認するには？

ねらい

保健事業や保険者支援を効果的に実施していくには、まず、保健事業の全体像を理解し、どのような根拠に基づいて、どのような目的で実施しているのか、関係機関の役割はどうなっているのか等を確認することが重要です。

チェック項目

- ① ガイドライン、手引きを読み、保健事業のねらいや、a 全体像を把握する、b 事業の概要を知る。
- ② 国保連合会における保険者支援の目的を確認する。
- ③ 国保連合会および各関係機関に求められる役割を確認する。

#### チェック項目①のポイント

##### 全体像や事業の概要を把握する。

国保連合会の実施する保健事業や保険者支援は多岐に渡ります。全体像を把握するには、国保中央会・国保連合会保健事業の手引き、各事業の歴史的背景や事業概要がまとまっていますので、参考になります。

また、各事業の詳細や進め方については、国および中央会が発行する各種ガイドライン、プログラム等がありますので参考にしてください。

内容	参考になる資料
保健事業の歴史と変遷	手引きⅠ 第2章（P12～23）
国保連合会の保健事業	手引きⅡ 第2章（P100～132）
各種ガイドライン・プログラム等	手引き関連法令・指針等（P169～170）

#### 2. 事業企画編

##### Q5. 保険者支援の全体目標を設定するには？

ねらい

保険者支援を効果・効率的に実施するには、保険者支援の支援計画を作成し、事業評価を実施することが必要になります。計画策定に際し、最初のステップとなる、課題の明確化と目標設定について解説します。

チェック項目

- ① 都道府県内で優先すべき健康課題や、健康課題に対する市町村毎の傾向を把握する。
- ② 健康課題に対する対策（保健事業）の未実施保険者など、支援の必要性の高い保険者を把握する。
- ③ 支援実施目標を設定する。
- ④ 支援目標は、当該年度の目標と中長期的な目標を設定する。
- ⑤ 4つの観点（ストラクチャー、プロセス、アウトプット、アウトカム）を意識して評価指標、評価基準を設定する。
- ⑥ 支援実施目標の評価時期、評価方法を定める。（中長期的な目標の評価時期も設定する）

#### チェック項目①～②のポイント

##### 支援上の優先課題を明らかにするには？

目標を設定するには、まず、現状の把握と解決すべき課題の整理が重要となります。保険者を支援する立場の国保連合会は、都道府県内の現状を俯瞰的に見て、①優先的に解決すべき健康課題、②その健康課題に関連する医療費や社会資源等についての市町村別の傾向を整理し、③その健康課題の解決に際し、支援の必要性が高い保険者を明確化することが必要です。

例えば、糖尿病性腎症が課題となる県であれば、県内で、透析患者の分布や糖尿病関連の医療費や医療資源等の地域差はないか、生活習慣や生活様式等、糖尿病の重症化に影響を及ぼしている要因はないかを地域別に分析・把握していくことが第一歩です。その上で、糖尿病重症化に係る課題がある地域や糖尿病性腎症重症化予防の取組が進んでいない保険者を明確して、支援すべきターゲットを明確化していく必要があります。

# 「保険者支援力向上のためのガイド（案）」の支援パターンについて

## ガイドの内容（案）

### ③支援パターン

- ・ 主には、国保・後期高齢者ヘルスサポート事業を基盤にした保健事業支援・評価委員会による助言や連合会事務局としての支援機能、研修等による支援を組み合わせ実施する保険者支援のポイントを示したもの。
- ・ 連合会への保険者支援状況調査（仮）やヒアリングから把握した実態や事例を類型化し、共通課題やその対応策、留意事項等を整理しまとめたもので、保険者支援にあたって参考となる効果的・効率的な支援方策のモデル的なパターンとして、「保険者支援力向上ガイド」において示すもの。
- ・ 令和３年度作成の支援力向上ガイドでは、支援パターンとして以下の例を示す。

保険者の形態別	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支援保険者数が多い場合の支援</li><li>・ 大規模保険者への支援</li><li>・ 国保組合への支援</li></ul>
設定される課題別	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施</li><li>・ 糖尿病性腎症重症化予防</li><li>・ 企画時の目標設定、評価指標の設定の支援</li><li>・ 事業評価の支援</li></ul> <div>各WGの マニュアル等に連携</div>

※今後、支援状況等を踏まえ追加・修正を行うことを検討する。

### ＜支援パターンの例＞

#### 1. 支援保険者数が多い場合の支援ポイント



一体的実施も支援の対象となり、支援保険者数が増えて困っています。効率的に実施する方法はありますか？

#### 支援保険者が多くて困っている点

- 事前ヒアリングに時間がさけない
- 支援・評価委員会の時間が限られていて十分な支援ができない…など

#### 支援のポイント

- 共通の悩みを持つ保険者に対しては、グループ支援や web 会議、書面による助言等も活用し、情報共有の場を設け効率的に支援を行いましょう。
- 支援カルテ等から保険者の状況を把握したうえで、支援の優先順位をつけ取り組みましょう。

#### 支援の工夫例

- ○○県連合会の事例：  
…
- ○○県連合会の事例：  
…

## 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業「保険者支援力向上のためのガイド（案）」作成について

No.	論 点	参照資料
1	ガイドの構成として①チェックリスト形式、②解説編、③支援パターンの3つで考えているが、この構成でよいか。	資料2-1（本資料） 資料2-2
2	チェックリストの内容について、修正・追加等はないか。	
3	支援のパターンとして、主に連合会の課題に対応した幾つかの例を示しているが、その他に考えられる方法、記載例はないか。	
4	解説編において連合会等の事例を掲載予定。内容等についてご意見をいただきたい。 ※詳細については、「保健事業にかかる保険者支援状況調査について」参照。	資料2-3



(参考) 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業における課題への対応と今後の方向性 (案)

項目	論点と対応 (案)	今後の方向性 (案)
①今後のヘルスサポート事業において推進すべき支援について	<p>(論点) 今後のヘルスサポート事業において推進すべき支援は何か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○データヘルス事業の一層の推進と一体的実施への支援の強化</li> <li>○申請に加えて、全保険者（国保保険者、後期高齢者医療広域連合及び構成市町村）を対象とした支援の実施。支援目標の設定。</li> </ul>	<p>【当面（R3年度）の対応】</p> <p><b>「保険者支援力向上のためのガイド」の作成</b> ※ 参考資料4-2参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①運営委員会・国保中央会、支援・評価委員会・国保連合会の役割分担の具体化</li> <li>②支援モデルの提示</li> <li>③支援の評価とその考え方、指標の提示</li> <li>④都道府県等との連携協力・役割分担の具体化</li> </ul>
②保険者への支援策の拡充について	<p>(論点) 支援を拡充するためにはどのような方法が効果的か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○効果的・効率的な支援モデルの検討、提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険者支援の好事例把握・分析等から、効果的・効率的な支援方法の検討、横展開（KDBシステム活用含む）</li> <li>・運営委員会・中央会、支援・評価委員会、連合会の役割分担の具体化</li> <li>・支援の効果を確保するための共通指標の検討、支援事業のPDCAを回す</li> </ul> </li> <li>○保険者の人材育成、体制整備（庁内連携・異動等含む）への支援の拡充</li> </ul>	<p>↓</p> <p><b>&lt;今後の方向性&gt;</b></p> <p><b>国保連合会・中央会のめざす方向 2018</b></p> <p><b>「審査支払業務の専門家集団」としての役割に加えて、「地方自治体が行う医療・保健・介護・福祉業務を支援する専門家集団」としての位置づけを明確化する。</b> (「国保連合会・国保中央会のめざす方向2018」より)</p> <p>↓</p>
③支援・評価委員会の負担増への対応について	<p>(論点) 保険者支援の負担を軽減するために見直すべきことは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保険者支援の手順や方法の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧なヒアリングを行うなど、実態調査の方法の検討</li> <li>・提出書類や手順等の見直し</li> <li>・中央会における実態把握の内容・方法の見直し</li> </ul> </li> <li>○国の動きを支援・評価委員と共有し、保険者支援の方向性を共有</li> </ul>	
④他機関（都道府県、保健所、広域連合、医療機関等）との連携について	<p>(論点) 他機関との連携を進めるためにはどのような方法が効果的か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○都道府県（保健所）や広域連合との役割の調整や連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険者間の格差解消のため、保健所と連携したきめ細かい支援の実施</li> </ul> </li> <li>○医療機関との調整や連携の推進</li> <li>○第三者機関との調整や連携協力の整理</li> </ul>	<p>↓</p> <p><b>国保連合会・中央会のめざす方向 2021?</b></p> <p><b>データヘルス改革に対応した保健事業に関する新たな枠組みの検討</b></p>